

平成21年度大津市事務事業評価（二次評価）事業仕分け結果

班 別	第1班	時 間	14:30~15:00
事業番号	6	所管部課名	健康保険部健康推進課
事業名	健康づくり教室事業		
事業仕分け結果	(6) 民営化 (NPO、地域団体含む)		
内 訳	(1) 不要	—	
	(2) 国及び県実施	—	
	(3) 市実施 現行通り	—	
	(4) 市実施 内容・規模見直し	—	
	(5) 市実施 民間委託	2名	
	(6) 民営化 (NPO、地域団体含む)	3名	
<p>【事業仕分け判定に係る意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事業を現在まで継続し、一定の利用者がついていることは評価できるが、今後も増大する行政ニーズの優先順位を考えると、当事業については市直営より民営化する方がよりよい市民サービスが見込めると考える。</li> <li>・民間業者の中でも事業の目的を活かせる有能な業者を選定すれば、今以上の事業の発展が望めると考える。</li> <li>・複合施設の按分方法や業務の委託方法などいくつかクリアしなければならない問題はあるが、指定管理に十分なじむ事業であると考えます。</li> </ul>			

事業仕分け発言要旨	
コーディネーター・評価者	事業説明者・補助者
	・事業概要説明（省略）
（コーディネーター） ・市内や近隣に民間のスポーツジムはあるのか。	・市内であればおの浜ふれあいスポーツセンター、近隣では山科などにある。
・人件費として計上されている正規職員や臨時・嘱託職員の主な業務は何か。	・利用料金の収納業務、トレーニング機器の修繕、教室の宣伝・募集・抽選・発送等である。
・指定管理者に民間委託できないのか。	・健診事業の健康増進コースと場所を共用しており、管理運営委託に留めている。
・運営委託するのであれば、職員が行っている教室の募集や抽選などの業務もあわせて委託することは可能か。	・可能であると思う。
・事業の目的の一つに介護予防をあげられており、利用	・トレーニングルームの新規利用者は20~40歳が約

<p>は 15 歳以上ということであるが、実際はどういった年齢層が多く利用されているのか。</p>	<p>50%と多いが、継続利用者は 50～60 歳の中老年の方が約 70%を占めている。また、健康運動教室の利用者は女性が 9 割程度を占め、50～60 歳が約 70%を占めている。</p>
<p>(コーディネーター)</p> <p>・健診事業と同じ施設で行っているが、健診事業は子育て中の母親を主な対象に、当事業は介護予防が目的であり、同じ担当部署が同じフロアで実施しているのに事業間の連携が感じられない。</p>	<p>・健診事業の健康増進コースに来られた方に健康指導する際に健康づくり教室の案内をしている。</p>
<p>(コーディネーター)</p> <p>・ただ相互に案内するだけでなく、健診事業と健康づくり教室を一連のサービスとして提供できるような運営を考えなければならないのでは。</p>	<p>—</p>
<p>・大津市が明日都浜大津を活用したことによって市街地活性化の面では一定の目的は達成されているが、さらなる活用を考えるのであれば立地条件等を考えても、指定管理者に運営を委ねることで市民サービスの向上を図り、賃料収入を得ていくことが良いと考える。</p>	<p>—</p>
<p>・民間では健診事業と健康づくり教室事業をあわせたようなサービスを提供できないとの前提で事業に取り組んでいるが、実際には民間でも行政以上のきめ細かいサービスを提供している事業者はたくさんある。</p>	<p>—</p>
<p>(コーディネーター)</p> <p>・指定管理者にして事業収入が期待できない代わりに、市からの支出もなくなっていくなど今までと違った新しい発想で事業を見直していくべきでは。このまま直営で続けても市が実施する対外的な意義も見当たらず、また、一定の事業収入を求められるため、市としてのメリットもないのでは。</p>	<p>—</p>
<p>・2 時間で 310 円の算定根拠は何か。</p>	<p>・近隣では利用料 500 円程度と聞いており、310 円と設定したのは、車で来られる方の駐車場が 30 分当たり 150 円かかるため、1 時間使用された場合の駐車料金の負担分 300 円とあわせると同等の額になる。</p>